



図書館トピックス

「大分そらはく2022」盛り上がりました！

7月から「宇宙にいちばんちかい国東市図書館！」をテーマに、宇宙に関する工作やイベント、展示を開催しました。皆さまのご参加ありがとうございました。



そらはく（くにさき図書館）

2022秋の読書週間（10/27～11/9）

標語「この一冊に、ありがとう」

毎年恒例の「今年の漢字一文字」の募集（10/22から）など、期間中は市内4館でさまざまなイベントを行います。下記イベントカレンダーの★マークが、読書週間に関連したイベントです。ぜひ「読書の秋」は図書館へ！



図書館イベントカレンダー

- 10/13(木) あかちゃんおはなし会 午前11時 くにさき図書館
- 10/16(日) 野菜モリモリ350（市民健康課協働展示） くにさき図書館
- 10/22(土) 11/9(水) ★4館ブックリサイクル 市内4図書館
- ★秋空おはなし会  
武蔵図書館 10/29 午前11時  
くにさき図書館 10/29 午後2時  
安岐図書館 10/30 午前11時  
国見図書館 10/30 午後2時
- 10/30(日) 読む・知る・認知症（包括支援センター協働展示）  
安岐図書館（10/16まで）  
武蔵図書館（10/20～30）
- 10/30(日) ★親子クッキング 午後2時 くにさき図書館
- 11/6(日) ★「大人の工作教室」ランプシェード作り 午後2時 くにさき図書館

休館情報（市内全館）

毎週月曜 図書館休館日 10/11(火) スポーツの日振替  
10/28(金) 資料整理日

司書のイチオシ

『人生が変わる 紙片づけ』  
石阪京子／著 ダイヤモンド社

郵便物、子どものプリントやテスト、レシートやクーポン券など、生活上の紙を仕分けせず取っておくと大変な量になってしまいます。今まで誰も教えてくれなかった「紙」の片づけ方が分かる本。



収納や断捨離の本はたくさんありますが、「紙類」をテーマにした本は珍しいです。身の周りの紙を片づけてスッキリしましょう。

武蔵図書館 司書  
岩本 尚代

子ども司書のイチオシ

『目がみえない 耳もきこえない でもぼくは笑ってる』  
佐々木志穂美／著 KADOKAWA

障がいのある男の子3兄弟の実話を基にした本。長男は約77,000人に1人の重い病気があり、次男は自閉症、三男は知的障がいのある自閉症。それでも笑いながら前向きに明るく暮らす家族の物語です。



どんな困難も周りの協力や自分の力で乗り越えていく3兄弟の姿に感動しました。学校の優しい司書さんに憧れているので、司書の仕事に興味があります。

安岐小学校6年  
田尾 姫菜乃さん

- 国見図書館 ☎82-1585
- くにさき図書館 ☎72-3500
- 武蔵図書館 ☎69-0946
- 安岐図書館 ☎67-3551



市内中学校制服の統一からみえる人権

文責：社会教育課国見分室 石本恭絵

自分に合った制服が選べるように

令和5年度の新入生から、市内中学校の制服デザインが統一されます。新しい制服は3種類あり、全ての生徒がどの制服も選択できるようにしました（例えば、性別に関係なくスカートかスラックスかを選べます）。人権の観点からも、生徒自ら、自分の性に合った制服を選べる素晴らしい制度です。言い換えれば、生徒一人一人を人として尊重する画期的な制服の誕生でもあるのです。

性のあり方はそれぞれ違う

「LGBT」という言葉をご存じでしょうか。レスビアン（性自認が女性の同性愛者）、ゲイ（性自認が男性の同性愛者）、バイセクシュアル（男性・女性の両方を愛することができると、トランスジェンダー（身体的な性別と性自認が一致しない人）の頭文字をとった言葉で、性的少数者を表します。日本にはLGBTの人が8%程度いるという調査結果もあります。これは、学校なら1クラスにつき1〜2人ほどLGBTの児童・生徒がいるという割合であり、身近

な存在なのです。私のように「男らしく、女らしく」や「異性を愛することが普通」と聞いて育った世代としては、性的少数派を「普通でない人たち」と考えてしまいがちですが、それは間違いです。性のあり方は全ての人それぞれ違っていて当たり前なのです。

差別は多数派の無理解の問題

性的少数者についてよく知らない方はまだまだ多くいますし、そうした人の中には、偏見や誤解から性的少数者を差別する人も残念ながらいます。こうしたことは、他の先進国に比べ日本が社会的・法的に、私たち一人一人の理解が遅れていることが大きく影響していると思われます。

LGBTへの差別をはじめすべての人権問題は、決してどこか遠くで起きていることではなく、あなたや私の身近にあり、差別する多数派の無理解の問題でもあるのです。誰もが暮らしやすいまちにするため、自ら学び、気付き、お互いを尊重し合う心を育てていくことが大切だと思います。



教育の里  
あらかると

国東から世界へ！  
市内中学生とハーバード大生の交流会

毎年夏休みの時期に、市内の子どもたちとアメリカのハーバード大学の学生らによる交流会が行われています。これは、一般社団法人Summer in JAPAN（大分市）のご協力で実現しているものです。今年は8月10日(水)にアストくにさきで行われ、市内中学生19名とハーバード大生7名、サポートスタッフ6名が参加。本場の英語に触れながら指導を受けることで、生徒らは英語への学習意欲を高めていました。

上級コースに参加していた国東中3年の一丸ちゆきさんは「外国の方々と触れ合うことができ、貴重な体験ができました。英語が好きなので、将来は英語が生かせる仕事に就きたいです」と話していました。



3年ぶりにハーバード大生の来日が実現しました。

教育総務課 学務係 ☎73-0066